

「40分授業午前5時間制」の導入について －「学び」の質の向上を目指して－

和泊町立和泊小学校



なぜ「40分授業午前5時間制」に取り組むのか？

【本校の現状と課題】

- ・ 本校の児童は、「学びに向かう力」があります。しかし、諸学力検査の結果を見るとその力が十分に発揮されているとは言えない現状です。
- ・ 教師が児童一人一人の個人差や学習のつまずきに応じた手厚い指導を行いたくても、時間確保等が難しく、十分な手立てを講じられない現状です。

【導入のねらい】

① 「学び」の質の向上（授業改善）

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進します。教師が教え込む授業から、児童が『聴き合い、学び合う』授業へと改善し、自ら深く考える力を育みます。

② 確実な学習内容の定着（基礎・基本の徹底）

「基礎的・基本的な学習事項を確実に身に付けさせる時間を意図的に設定し、一人一人の習熟度に応じた個別指導や発展的学習を充実させます。

「40分授業午前5時間制」が児童にもたらす主なメリット！

① 児童の集中力が持続する！（学びの午前、活動の午後）

- ・ 授業1コマ時間を45分から40分に短縮することで、児童の集中力を維持することができます。
- ・ 昼食後の午後は集中力が途切れやすく、眠気等も起こりやすくなります。そこで頭が最も冴えている午前中に5コマ集中させることで、学習内容が定着しやすくなり、学力向上に直結します。

② 授業内容の工夫で「学び」の質がアップ！

- ・ 午前5時間制によって新たに生み出された時間は、手厚い個別指導や学校独自の教育活動に充てられます。時間を有効活用し、授業内容を工夫することで『学びの質の向上』が期待できます。

新たな校時表の一例

基本的に、下校時刻は変わりません。概ね15時15分下校となります。但し1年生については、水曜日と金曜日の下校時刻が13時50分頃と40分ほど早くなる予定です。今後、関係機関と協議し、最終確認をして参ります。

この時刻表は、2～6年生の校時表の一例です。曜日によって若干異なってきます。確定し次第お知らせいたします。

8:15	8:25	朝の会
8:25	9:05	1校時
9:05	9:15	準備移動
9:15	9:55	2校時
9:55	10:05	準備移動
10:05	10:45	3校時
10:45	11:00	休憩 15分
11:00	11:40	4校時
11:40	11:50	準備移動
11:50	12:30	5校時
12:30	13:15	給食
13:15	13:40	昼休み 25分
13:40	13:55	そうじ
13:55	14:20	帯活動 (25)
14:20	14:30	帰りの会
14:30	15:15	6校時 (45)

具体的な授業スタイルの工夫と「(仮称) わこんタイム」

【40分授業のスタイル】聴き合い、学び合う授業の実現

40分の授業時間では、児童の『聴き合い、学び合い』に重点を置きます。教師は指示や説明ばかりにならず、児童たちの対話や思考を促すファシリテーター（学びの伴走者）としての関わりを大切にし、学びの質の向上を目指します。

【帯活動の時間】「(仮称) わこんタイム」(1日25分)の新設

毎日生み出される帯活動の時間（25分）を活用し、以下の指導・学習を意図的に設定します。

- ・ 基礎・基本の定着&学力調査対策：つまづきに応じた個別指導や反復学習を実施
- ・ 「マイプラン学習」の推奨：児童一人一人の興味関心を生かした自主的・発展的な学びをサポート

完全実施までのロードマップ

- 6月 教育委員会との確認
- 7月 職員会議で提案
懸念点等の洗い出し
校内準備委員会の設立と協議
- 8月 情報収集、先進校視察
- 9月 学級PTA等で保護者へ説明
- 11月 運動会終了後、試行（予定）
令和9年度に向けた教育課程編制
- 1月 成果と課題の洗い出し
- 2月 校時表等の見直し
- 令和9年度4月 完全実施



保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします！

11月からの試行期間中、児童たちの集中力や学習への取り組み、学校生活の様子を丁寧に見守り、成果と課題を検証しながらよりよい形で令和9年度の完全実施へとつなげて参ります。ご意見やご質問がございましたら、いつでも学校までお寄せください。

